

地震対応避難訓練

令和8年9月1日



発行所
常磐南小学校
電話 46-2005
FAX 46-2048
— 第71号 —
2026.9.25

自分の命は自分で守る



『たった二秒のあいさつ』

校長 林 幸康

夏休みの宿題で最後まで残りやすいのが生活作文です。しかし、そこには子どもたちの実体験や素直な心が詰まっており、毎年ハツとさせられる内容の作品に出会うことが多いのです。今年も素敵な生活作文に出会いました。四年生の子が書いた『たった二秒のあいさつ』という作文です。

岩中地区に住む彼は、毎日約三キロの道のりを三十分ほどかけて登校しています。小学生にとっては、なかなか大変な距離ですが、保護者の協力もあって、毎日頑張って登校していました。そんなある日、すれ違うトラックの運転手さんが手を振ってくれていることに気付きました。さらに、運転手さんは、すれ違うたびにスピードを落としたり、歩道から離れて走ったりと、いつも安全に配慮してくれていたのです。それからというもの、このトラックとすれ違うのが楽しみになりました。

時間にして「たった二秒」。けれど、その温かい気遣いのおかげで、毎日の通学にワクワクが生まれました。彼は感謝の気持ちを伝えようと、すれ違うたびにトラックに書かれた会社名やナンバーをメモして、それを頼りに手紙を送りました。すると後日、運転手さんから返事の手紙が届きました。そこには「歩行者の安全に配慮するのは当たり前のことです」と、運転手さんの優しく実直な姿が思い浮かぶ内容が綴られていました。

私も週に一、二度、岩中地区に向けて通学路を歩いています。この歩道は、幹線道路沿いにあるため、多くの車がすぐ横を通っていきます。あらためて周囲の様子に目を向けてみると、確かに、スピードを緩めたり、歩道から少し距離をとったりしながら通り過ぎる車があることに気付きました。運転手さんのさりげない心遣いが見えてきたのです。そして今では、そんな車の後ろ姿に向かって、心の中で「ありがとうございます」とつぶやいています。

「たった二秒」のあいさつや思いやりが、人と人との心をつなぎ、何気ない日常をほんの少し温かいものにしてくれる。この作文は、そんな当たり前で大切なことを、あらためて教えてくれました。

五年 山の学習

みんなといっしょにねたこと

五年

山の学習で一番の思い出は、大きな部屋で、みんなといっしょにねたことです。大きなお風呂にがやがやと入って、夜食のゼリーを食べて歯をみがいてねました。

消灯になってから、少しねれませんでした。でも、カレー作りやキャンプファイヤーのことを思い出しているうちに、いつのまにかねていました。家よりも、ぐっすりねることができました。気がついたら朝になっていました。

みんなといっしょにいろいろなことをしたり、ねたりすることは、とても楽しかったです。

来年は、修学旅行でみんなといっしょにねます。



【ロッジにて】

ぼくが山の学習で一番楽しかった体験は、モルックと火おこし体験です。モルックとは、一から十二までの数字の書いてあるピンを、離れた所から木の棒を投げてたおし、五十点びつたりになるのを目指すゲームです。あと三点取れば勝ちというタイミングで、ぼくの番が来ました。三番のピンをたおすか、三本ピンをたおすかなやみました。冷静になって投げると三本たおすことができました。チームのみんなも喜んでくれてうれしかったです。

火おこし体験では、ぼくたちの班は二回も火をつけることができました。みんなで役割分担をして、スムーズに進めることができたからだと思います。楽しい体験がいっぱいの山の学習でした。そして、今から来年の修学旅行が楽しみです。

みんなで楽しんだ山の学習

五年



【みんなで楽しんだモルック】

みんなとの一泊二日

五年

初めて家族とはなれて、友達と生活をしました。カレー作りでは、火の番を班の子と一緒にやりました。できあがったカレーは、とてもおいしかったです。洗いが大変でしたが、みんなで協力して、合格がもらえるまでピカピカにみがきました。

一番楽しかったのはモルックです。友達と一緒にできて、すぐもり上がりました。五番ピンをたおしたくてねらったら、見事命中して、うれしかったです。

この山の学習で、みんなで助け合えば大変なことも早く終わるし、楽しくなることに気がきました。だから、これからはぼくも困っている人をたくさん助けたいと思います。



【おいしくできたカレーライス】

四年 部活動を始めて

上手になるうれしさ

四年

ぼくは、ソフトボール部に入部してうれしいことがたくさんありました。その中でも、特にうれしかったことが二つあります。

一つ目は、遠くに転がった打球を追いかけて取れるようになってきたことです。六年生の打球が、ぼくが守っている横をぬけていきそうになったときに、上手に取れることが増えてきました。

二つ目は、バッティングで出塁できたことです。打席に立ち、ボールを打って一塁までがんばって走ったとき、セーフと言われて、やったぞという気持ちでした。

最近、練習も多くなってきたので、集中して練習をやって、大会で優勝できるようにがんばろうと思います。



【団結力のある4年生】

常磐南学区盆踊りフェス〜夏祭りの夕べ〜

去る八月九日（日）、常磐南小学校運動場にて「盆踊りフェス〜夏祭りの夕べ〜」が社会教育委員会・子ども会を中心に開催されました。六百人を超えるとても多くの方が参加して、大変盛況のうちに終えることができました。子ども達も、とても楽しんでいました。

叩き切った夏祭り

六年

「やりたい。」太鼓募集の手紙を見た時、迷うことなく思った。和太鼓の演奏を見てきた私は、ずっとあこがれていたからだ。練習は始め注意されるが多く、一人置いていかれるような気がした。しかし、家でも練習しほめられることが増えてきた。

そして迎えた本番、私は自信をもって舞台に立った。自信とは裏腹に緊張で足が震えていた。音楽が鳴り、やぐらの周りには踊る人たち、会場の盛り上がりを感じ、いつの間にか楽しく叩いていた。地域の人たちと夏祭りを盛り上げる一員になったことがとてもうれしい思い出になった。



【盛り上げた和太鼓】



ときなんのなつまつりはさい高

二年

わたしは、ようち園のころからなつまつりにさんかしています。いちばん楽しみなのは、ぼんおどりです。ピンク色のゆかたをきると、うれしくて笑顔になります。「ウルトラソウル」のジャンプをやると、元気が出ました。ときなん学くの人たちみんなでもり上がるなつまつりはさい高です。来年のなつまつりも楽しみで

楽しかった夏まつり

三年

毎年楽しみにしている夏まつりに今年も行きました。夏まつりの中でも、わたしはぼんおどりが好きで、何回も練習をしました。当日、おどる前ははずかしかったけど、だんだんなれてきよくに合わせて長くおどることができました。ほかに、友だちとおかしこうかんをしたり、おにごっこしたりとても楽しかったです。

来年はぼんおどりでかんぺきにおどれるようにしたいです。

小学校最後の夏祭り

六年

今年の夏祭りは、仲のいい友達と一緒に子どもだけで行きました。出店からあげやフランクフルト、かき氷などを買って食べたり、みんなと話をしながらゲームの店を見て回ったり、盆踊りを見たりしました。一番楽しみにしていた抽選会では、サララップしか当たらず、とてもくやしかったです。

いつも通っている学校だけれど、夜に友達と夏祭りに行くと、とても楽しい時間を過ごせる特別な場所だと気付きました。残りが少なくなってきた小学校生活だけれど、夏祭りのように友達と楽しい思い出をたくさん作っていききたいです。



【大人も子供も盛り上がった盆踊り】



かき氷の会 9/1

おいしかったかきごおり

一年

ひなんくんれんのあと、みんながかきごおりをたべました。わたしは、いちごあじをたべました。おいしかったので、おかわりでぶどうあじもたべました。みんなでかきごおりをたべたら、いつもよりもすごかったしくて、おいしくかんじました。またみんながかきごおりをたべたいです。



【かき氷「山盛りをお願いします」】



夏休み作品展

小学校生活最後のポスター作り

六年

私が夏休みの人権ポスター作りで工夫したところは二つあります。

一つ目は服の色です。常識をおしつけられたつらい気持ちの子と自分らしく自由になった子を対照的に表現するために、色使いを工夫しました。つらい気持ちの子には黒の混じった暗い色でしずんだ気持ちを表し、自由になった子には明るい色をたくさん使って個性を表現しました。

二つ目は目の中です。つらい気持ちの子は、光がなくこつちをにらんでいる目にして、逆に自由になった子は、光がありたくさんの色を使っ

て希望に満ちた目にすることで違いを出しました。
小学校最後の夏休みのポスターで自分の思いを画用紙にのせ、力いっぱいえがき切ることができたのでよかったです。



【夏休み作品展】

常磐南学区敬老会

9/19

今年は、この時期の暑さを鑑みて、空調設備が整っている市民ホールの二階ホールで敬老会を行いました。

当日は、敬老者二十五名に参加いただき、和やかなムードで式典が執り行われました。子ども達からの手紙を、皆様がうれしそうにご覧になっている姿が印象的でした。いつまでも元気に活躍いただきたいと思います。



【挨拶をする社教委員長】

常南の心

まずは一面から
教諭

夏休み前、学級の子供たちや息子に、「毎日こつこつ続けることが大切だ」と話しました。そう話しながら、ふと、自分も何か始めてみようと思いました。しかし、毎日続けられることとなると、自信がありません。何をしようかと考えているうちに、気付けば、七月二十一日になっていました。

そこで、とりあえず新聞の一面トップ記事を読んでみることにしました。
私が一人暮らしを始めるとき、父が「新聞はとりなさい」と言いました。社会人になった頃は、テレビ欄と広告を見るのが精いっぱい、新聞代がもったいないなと思ったこともありま

した。
初日に読んだ記事は、サッカーワールドカップ決勝についてでした。試合前の国歌演奏で、スペインの選手たちが歌っていないかったこと、その理由はスペイン国歌には歌詞がないからだということが紹介されていました。そんな新しい知識に触れ、知らなかったことを知るの楽しいなと感じました。

夏休み明けに提出された「チャレンジ！夏休みのお手伝い18カード」からは、子供たちが家族の一員として、自分にできることにこつこつ取り組んだ様子が伝わってきました。毎日の手伝いも、一面の記事を読むことも、一つ一つは小さな取り組みです。しかし、その積み重ねは確かな力となります。

二学期が始まった今も、なんとか一面記事を読むことができています。さて、この習慣はいつまで続くのでしょうか。自分でも楽しみにしながら続けていきます。

31	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木
←	←	←	キッズデイズ 球技大会 陸上大会 (予備日)		選手激励会 委員会			読み聞かせ	クリーンセンター 見学 4 年		稲刈り予備日（未定）	代休		学芸会	学芸会準備⑤⑥ 5・6 年 1 から 4 年 13 時 30 分 下 校		校内学芸会	1 から 4 年 13 時 30 分 下 校	福寿会 共同奉仕活動 校内学芸会準備⑤⑥ 5・6 年	スポーツの日			稲刈り（未定） 読み聞かせ			クラブ			読み聞かせ 委員会	



